



初めてのセミナー
参加

2011-05-29 30 31

佐藤鴻輝

セミナーにはじめて参加して

2011年5月31日

昨年2010年12月ある方からの紹介で「意識の流れ」を購入し読ませていただきました。

本の内容はすっと心に入っていました。

田池留吉という人はすごい人で

「書いてあることが本当なら素晴らしいなあ。一度会ってみたいな」

そんな思いでセミナーに参加いたしました。

今日5月31日帰宅しまだ感動がおさまらず感想文を書いている次第です。

私は ある宗教を熱心に信仰している両親の元に昭和40年4人兄弟の二男として生まれました。

小さい頃はなにも分からずに家族全員で朝晩神様に手を合わせお祈りをしておりました。

とても貧しい家庭で小学校の頃は新聞や牛乳配達をしてお小遣いを稼いでおりました。

家の中では自分の家に他人（信者さん）が同居していることで家族の団欒や家庭のぬくもりを感じた事がなく、いつも他人を気にして育ってきました。

やがて中学、高校となると反抗期となりそれから朝晩のお勤めはしなくなりました。

そんな私でしたが、両親は新聞配達で稼いだお金と信者さんから頂いたお金で私達兄弟4人を育てたのでしょ。

社会人になった私は交通事故を起したり何か問題がある度に父は私を教会本部に連れて行き、無理やり信仰をさせようとしつこく説教しました。

しかしそれには従いませんでした。

でも 幸せになりたい。金持ちになりたいといろんな事に手を出し失敗し、お金はなくても人格者になりたいと霊能者の所に通ったりしていました。

自分では無宗教だといいいながら、宗教団体は組織があるからダメで組織のない信仰ならいい、神様、仏様は尊い存在であると去年まで思っていました。

宗教組織のお金にまつわる事が嫌いで団体を否定していたのですが先祖供養はしたほうがいいと訳の分からないことを思っていたのです。

そんな考え方でしたが昨年12月に「意識の流れ・【増補改訂版】」 田池留吉・塩川香世著 を読み、アマテラスのエネルギーを知って間違いにやっと気付いたのです。

今回 初めてセミナーに参加し田池先生のパワーを見せて頂きすごいと驚き、また死後の世界が苦しい事、深い深い闇があることを実感いたしました。

そして教祖と信者の関係、己一番、アマテラスがいかに小さいものであること。他力が愚かなことであること。

それによって何万回もの転生で苦しんでいる事。

闇の中に押さえつけている事。

そしてますます死を辛い悲しい苦しい寂しいものに行っていることがとてもよく分かりました。

はっきりと目の前で見て頂き心に焼き付いております。

自己供養それこそが私が一番望んでいる事だったので。

今でも必死に神にお祈りしている両親を見ているとかわいそうでなりません。このまま死を迎えたらと想像すると恐ろしくてたまりません。

今の私とその宗教を止めろと言っても喧嘩になるだけで逆効果です。

私が変わらなければ父も母も変わらないでしょう。

今現在、まったく母の温もりなど感じていない私ですが、田池留吉の世界のすばらしさは肌で感じました。

早く寂しい闇の中にいる私の魂を抱きしめることができるよう しっかり学びをしてまいります。

田池先生はじめスタッフの皆様、参加しておられた皆様、心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

注： 文中に田池先生のパワーとありますが田池留吉氏が発しているものではありません。

田池先生とは指導者や教祖、リーダーという意味ではありません。

田池氏が過去、校長先生であった名残でみなさんそのように呼んでいます。

初めてのセミナー参加

<http://p.booklog.jp/book/42396>

著者：佐藤鴻輝

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/narisen45/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42396>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42396>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.